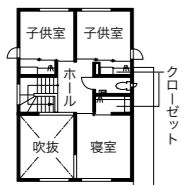


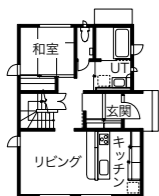
建築データ

設計・施工 ■ (有)伊藤工設計
 構造規模 ■ 木造・2階建て
 延床面積 / 98.09㎡(約30坪)
 主な外部仕上げ ■ 屋根 / ガルバリウム鋼板瓦棒葺、外壁 / 窯業系サイディング、建具 / 玄関ドア: 断熱ドア、窓: アルミ樹脂複合サッシ
 主な内部仕上げ ■ 土間 / 豆砂利洗出し、床 / パイン材、壁・1階天井 / エコクロス、2階天井 / 梁・ムクボード現し
 断熱仕様 ■ (充填断熱) 基礎 / スタイロエースII 65mm、壁 / 高性能グラスウール16kg120mm、天井 / グラスウール吹込13kg210mm
 暖房方式 ■ エアコン2台
 概算工事費 ■ 1,900万円(税込)

平面図



2F



1F

私たちの取り組み

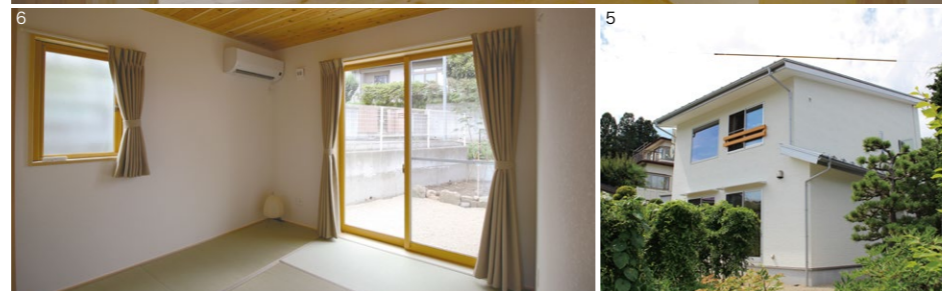


「近くの木と職人でつくる家づくり」活動を続け、地元の工務店仲間との協力体制もできました。住宅の点検や修繕など維持管理の共有化を図り、建築技術などの勉強会を開くなど、活動をしています。住む人の暮らしを支え、地域の「家守り」として必要とされるよう努めていきます。



(有)伊藤工設計
 代表取締役
 伊藤 博範

問い合わせ先
 (有)伊藤工設計
 宮城県利府町加瀬字新町頭96-2
 TEL.0120-973-460
<http://www.gikoban.co.jp/>



1. リビング。明るい色合いの無垢材がさわやかな空間をつくっている
2. キッチン。背面の障子風建具の奥は大容量で使いやすい収納
3. 南側の大きな窓から自然光が降り注ぐ明るいリビング
4. 2階はムク板の天井と梁が現し。寝室の窓は吹き抜けに通じる
5. 白壁が周囲の緑に映える総2階建ての外観。南北に大きな窓を採用
6. 1階和室。北側の大きな窓から柔らかな光が入る



- 自然素材+高断熱・高气密
- 宮城の木材でつくる地域型住宅
- 経年変化を楽しむ居心地のいい家

家は、地域の工務店が地域の気候・風土に合ったつくり方をするのが大切だと考えています。そのため、家全体の60%に「みやぎ材」を使い、木のよさを上手く見せる設計を心がけています。土台と床はヒノキ・柱はスギが標準仕様、床材の標準仕様は、ヒノキ、蜜ロウワックス塗りですが、写真の例はパイン材を使用しました。大工がつくる造作食器収納もおすすめしています。木の温かさを感じながら暮らして次世代へ受け継いでいく、居心地のいい家づくりです。

居心地のよさは、高断熱・高气密仕様も大きな要因です。基礎、

壁、天井に高性能の断熱材を使用、宮城県の次世代省エネ基準であるQ値2・4を上回り、北海道レベルのQ値1・6以上の性能を標準としています。自然からもらうエネルギーを生かして、冬暖かく夏涼しい快適な室内環境をつくり、冷暖房費を節約できるメリットもあります。

お金をかければ高品質の家ができるのは当然ですが、私たちは自然素材の使用と高性能を両立し、県産材利用や地域型住宅グリーン化事業の助成制度も活用して、若い人も手が届く「安くいい家」づくりに努めています。飽きのこないシンプルで心地よさを基本に、お客さまが満足いく家づくりができることが私たちの喜びです。